

図書館からの贈り物

梅澤 幸平 著 (元滋賀県立図書館長)

四六判・200頁 定価(本体2,300円+税) ISBN978-4-8169-2511-5 2014年12月刊行

資料提供など基本サービスの忠実な実践から
新発想による様々な取り組みまで
図書館活動の可能性を示唆!

- 1960年代に始まった日本の公共図書館の改革と発展に関わった、前滋賀県立図書館長による体験的図書館論です。
- 地域に役立つ図書館を作るため、利用者へのよりよいサービスを目指し、のちに県民一人あたりの貸し出し冊数全国一を達成した貴重な実践の記録です。
- 図書館運営に携わる人も利用する人にも、図書館の可能性を再認識させる一冊。

【著者略歴】 梅澤 幸平 うめざわ・こうへい

1946年生まれ。北海道立図書館、滋賀県甲西町立図書館長を経て滋賀県立図書館長。退職後は滋賀県審議員として県政史料室を担当。滋賀大学、京都外国語大学等非常勤講師。

主な著述「ヴォーリズと近江兄弟社図書館」、「映画『キクとイサム』から五十年」、講演集「図書館のこと、保存のこと」(共著)等

〈図書館サポートフォーラムシリーズ〉について

図書館活動の社会的広報に寄与するという趣旨で1996年に創立された「図書館サポートフォーラム」の名称を冠した本シリーズは、緩やかで様々なテーマを通して、図書館活動の発展を出版面でサポートすることを目的とする。

【目次】

滋賀へ

「あけぼの号」に揺られて
「あけぼの号」の更新
滋賀での図書館づくり
「暮らしの中に図書館を」の実現へ
利用者の先を目指したい
図書館で巡り会った人たち
地域に役立つために
県立図書館長のバトンタッチ
県立図書館での仕事の始まり
図書館未設置地域の解消へ
県立図書館で取り組んだこと
「市民の図書館」と専門職館長の配置
図書館運営の見える化
図書から公文書の世界へ
移動図書館史への試み
「ほたるび号」について
研修の成果を求めて
図書館長の資格
図書館協議会について
報道と図書館
職員研修制度について
震災復興と図書館
寄贈図書との出会い
忘れられない邂逅

〈コラム〉

「明日都浜大津」に図書館を
イサム・ノグチ展をめぐって
こども読書の日
図書館の力
都市ランキング
指定管理者制度 図書館への導入に警鐘
文書の行方
知のパッケージ
「本」で被災者の心支える

2016.10

お問い合わせは… 日外アソシエーツ 営業局

TEL.03-3763-5241(代) FAX.03-3764-0845
〒140-0013 東京都品川区南大井6-16-16 <http://www.nichigai.co.jp/>

■貴店名	注文書	図書館からの贈り物	冊
		定価(本体2,300円+税) ISBN978-4-8169-2511-5	
		 9784816925115	